このたび、「子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種」並びに「高校３年生までの医療費助成」にかかる施策の早期実現のため、緊急に施策要望を取りまとめました。

 区長におかれましては、台東区議会公明党の緊急要望の実現に向けて的確な措置をとられるようお願いいたします。

令和４年１月２１日

台東区議会公明党

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年１月２１日

台東区長　服 部　征 夫　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　台東区議会公明党

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　幹事長　小 坂　義 久

緊急要望

**子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の実施について**

　子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）の感染を防ぐワクチンについて厚生労働省の専門家による２０２１年１１月１５日分科会において、接種対象に高校生や大学生相当の女子も時限的に追加し公費で接種することを決定しました。

　ＨＰＶワクチンは、小学６年から高校1年生の女子を対象とした定期接種です。

厚生労働省は２０１３年６月から「積極的勧奨」を中止していましたが、２０２１年１０月１日に開催された厚生労働省専門部会でＨＰＶワクチンの安全性や効果などを検討し「勧奨を妨げる要素はない」と結論づけました。また、同年１１月１２日に再度開催された同部会において「積極的勧奨」を再開することを正式に承認いたしました。

そこで２０１３年６月から「積極的勧奨」を中止していた期間、接種を差し控えていた対象者への対応について下記のとおり緊急要望いたします。

※キャッチアップ接種（catch-up Vaccination）　推奨される接種年齢を逃し、その後に接種すること。ＨＰＶワクチンでは、積極的な勧奨を差し控えている間に定期接種の対象であっ平成９年度生まれから平成１７年度生まれの９学年は、積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した可能性があるとされている。

記

１　キャッチアップ接種の実施にあたり、関係機関と連携し、早急に接種体制を整備すること

２　キャッチアップ接種の対象者を平成９年度～平成１７年度（１９９７年～２００５年）生まれの９学年の希望するすべての女子とし、公費により無料で接種できること

３　対象者には予診票を個別に送付することとし、疑問・相談等にはていねいに応じること

４　ＨＰＶワクチン定期接種を開始した際の報道等による混乱を踏まえ、その後の科学的な研究成果を加えて今般の国の方針転換など、対象者・区民に正確な情報提供に取り組むこと

**高校３年生までの医療費助成について**

東京都内では子供の入院や通院にかかる医療費の公費助成が進んでいます。

東京２３区では、全ての区で中学３年生（１５歳に到達した日の属する年度末）まで無料（所得制限なし）。多摩地域などの多くの市町村は、中学３年生までの入院が無料で、通院は受診１回あたり２００円の自己負担としています。このほかに全国に目を向ければ、対象を高校３年生（１８歳に到達した日の属する年度末）まで広げている自治体も数多くあります。

中学３年生までの医療費助成事業については、本区は、他自治体に先駆けて実施し、その後の全国での実施の道を開いたものと自負しております。

感染症等感染リスクの高い集団指導等教育環境、今般の新型コロナウイルスの蔓延や景気の足踏み・低迷による家計のひっ迫など厳しい社会経済環境の中、医療機関の受診を抑制する子供たち・高校生がおります。国や区は、この国やこの地域の未来を託す子供から受診機会を奪ってはならないと懸念しております。加えて、

教育費がかさむ子育て家庭の負担を軽減する目的で下記のとおり緊急要望いたします。

記

１　経済的な理由などによる高校生世代の受診抑制を防ぎ、平等な受診機会の確保と心身の健やかな成長を目的とする『高校３年生までの医療費助成事業』を新規に行うこと

２　高校３年生（１８歳に到達した日の属する年度末）までの保険診療の自己負担額を区が助成すること